

テーマ 11 秋田県の「推し」（5 件）

11－1 【秋田市 30 代】

秋田県の「推し」は春～秋の天気の良いさ。その時期の気候を活かし、「晴れの秋田キャンペーン（仮）」を展開する。

11－2 【秋田市 40 代】

仙台や東京で暮らしていた頃、時々秋田へ帰省すると空気の良いさが本当によくわかりました。特に、冬の秋田の空気は凜としていて冷たいミストのように身体の隅々へ浸透するようです。

自然が多く空気の良い中で生活したいと思い、秋田へUターンしました。そして結婚をし、子育てをしています。

ある日、しばらく空き家だった隣家が買い取られ、1階の屋根に筒だけの薪ストーブの煙突が付けられました。それは、我が家の2階の屋根とほとんど変わらない位置にあります。隣家とは2メートルも離れていません。

秋～春まで、やはり日常的に不完全燃焼の煙が入ってくるようになりました。

頭痛や吐き気など身体症状が見られるようになり、秋田市役所に相談してみました。

また、県外の自治体はどうしているのか調べたところ、山形県は子育て施策は抜きん出ていると思っていましたが、やはり薪ストーブの対応も違いました。

「設置場所や煙突の位置に配慮しましょう」「ご近所から理解してもらう工夫をしましょう」等、薪ストーブに関する留意事項が示されていました。

他の自治体でも、同様の対応をとっているところを度々見かけます。

澄んだ空気を求めている県民がいることを踏まえて、山形県庁のように対策をしていただけますようお願いいたします

また、その対策を、県内のハウスメーカーや設計事務所へ周知し、既に注意事項に当てはまるケースの設計をした場合は速やかに対応をするよう促していただきたいです。

そして、秋田県民が薪ストーブの設置を考えた際にも、まずは秋田県としての注意事項がネット検索に引っかかることが

大切だと思います。薪ストーブという多額の買い物をした後に苦情を受け、感情的な対応になりトラブルが生まれることは少なくないと思います。

秋田は「豊かな自然」を全面的にPRして推しています。「豊かな自然」には「澄んだ空気」も含まれています。平穏に暮らしたい人を守る施策を、何卒よろしく願いいたします。

11－3 【大仙市 40代】

「自然」一面見渡せる空、美味しい空気、美しい山、綺麗な水、温泉があること。

11－4 【にかほ市 40代】

まず、秋田県の「推し」として私が考えるのは、交通アクセスの不便さや都会化されていないことゆえに残されている、豊かな自然環境と人の温もりです。これらは急速に失われつつあるものの、県民がその価値を再認識し、不用意な開発や都市化を慎むことが重要と考えます。

県民の郷土愛が強く育まれている群馬県には「上毛かるた」という文化があります。小学生のころからかるたに親しむことで、県民は群馬の魅力を身近に学び、県外に出ても故郷の良さを忘れずに記憶にとどめています。秋田県でも、すべての人に県内にとどまってもらうことは難しいですが、外に出て大いに活躍してもらいながらも、離れていても秋田県を応援し続ける人を増やす取り組みが大切だと考えます。

11－5 【由利本荘市 70代】

「稼げる観光地づくり」、「秋田県の推し」、「持続可能な地域にしていくための観光振興」、以上は全て、秋田県の魅力や良さ、強みである「自然の豊かさ」があってこそである。

※テーマ6、テーマ13に再掲。